

学校感染症一覧（令和 6 年 10 月改訂）

第一種感染症

感染症名	出席停止期間の目安
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9）	治癒するまで（医師が感染の恐れがないと認めるまで）

第二種感染症

感染症名	出席停止期間の目安
インフルエンザ（H5N1 除く）	発症後 5 日経過かつ解熱後 2 日経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで 又は 5 日間の抗生物質治療終了まで
麻疹（はしか）	解熱後 3 日経過するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	腫脹発現後 5 日経過かつ全身状態が良好になるまで
風疹（三日ばしか）	発疹が消失するまで
水痘（みずぼうそう）	全ての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状消退後 2 日経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発症後 5 日経過かつ症状軽快後 1 日経過するまで
結核	医師が感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	医師が感染の恐れがないと認めるまで

第三種感染症

感染症名	出席停止期間の目安
ウイルス性肝炎（A 型・E 型を除く）、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎、感染性胃腸	医師が感染の恐れがないと認めるまで

炎（ノロウイルス等）、溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑（りんご病）、突発性発しん、RS ウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症、带状疱疹、咽頭結膜熱（プール熱）、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎、百日咳、腸管出血性大腸菌感染症（O157 など）、その他の感染症	
---	--

【参考】

文部科学省「一般的な感染症対策」

厚生労働省「感染症法に基づく類型分類」

学校保健安全法施行規則 第 18 条・第 19 条

公益財団法人 日本学校保健会「学校において予防すべき感染症の解説（令和 5 年度改訂）」